

札幌市円山動物園における 気候変動・環境教育の 現状と課題

札幌市円山動物園
保全・教育推進課保全・教育担当係
池田浩康

円山動物園の概要



- 開園：1951年（昭和26年）
- 面積：約22ha（動物園の森を含む）
- 動物飼育状況：
2023年12月末現在 145種、753点
- 施設 動物舎 31棟
- 年間来園者数 約100万人（コロナ前）



円山動物園基本方針

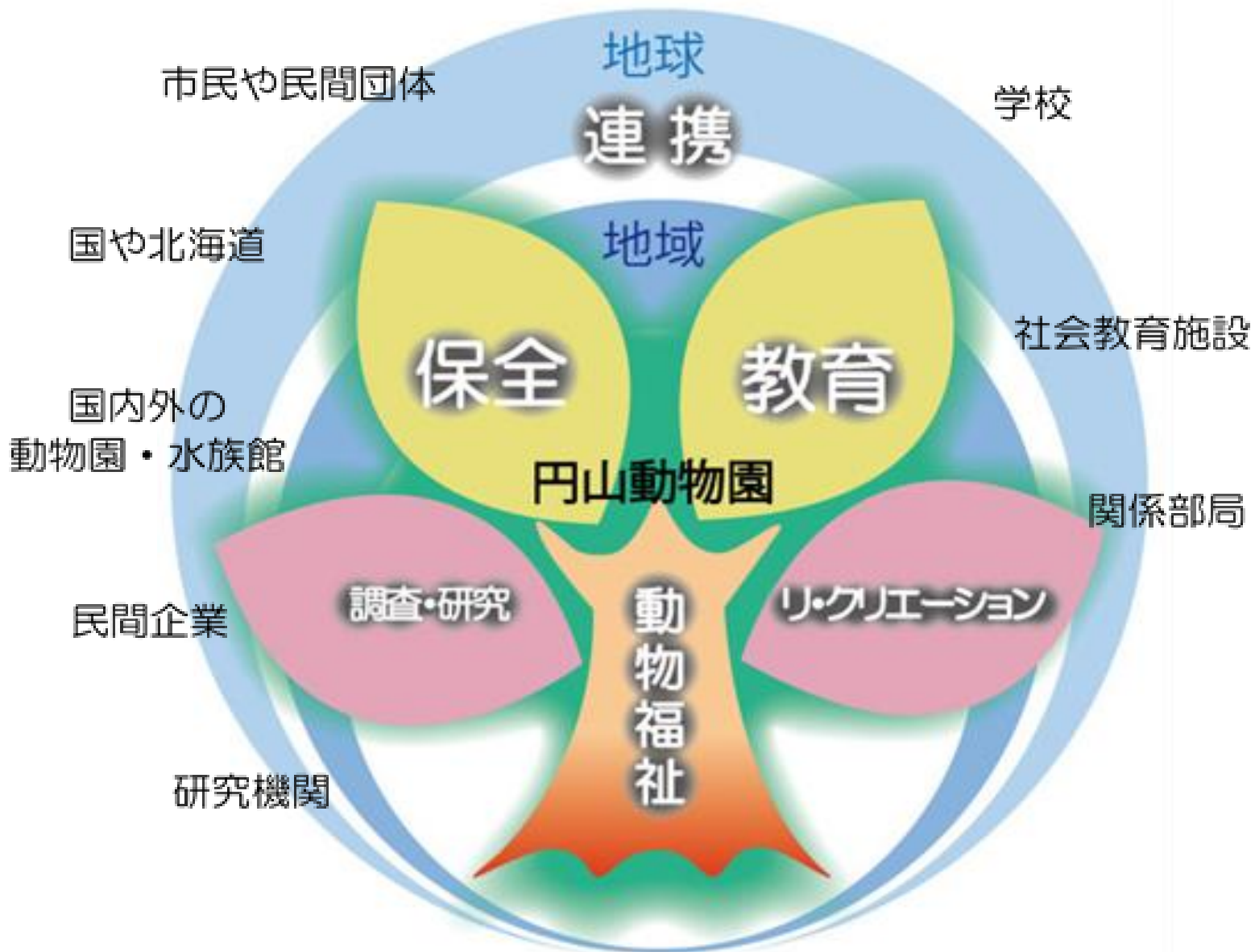
「ビジョン2050」の策定（2019年3月）

開園100年目である2050年に向けて、
円山動物園の目指す姿(基本理念)と
これに基づく重点取組などをまとめた。

基本理念

「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」

基本方針で掲げる取組の概念図



札幌市動物園条例

2022年6月制定

条例の構成

- 動物園の取組内容
- 認定動物園
- 円山動物園の取組
- 動物園応援基金
- 市民動物園会議

動物園の取組内容

【野生動物の保全活動】

動物の収集

調査研究

動物の展示

教育活動

繁殖

情報交換

【良好な動物福祉の確保】

適した飼育、病気の
予防、治療

動物福祉の評価

円山動物園での環境教育

動物の命

- 動物のぬくもりや息遣いを感じ命を慈しむ心を育む
- 動物を通じた情操教育
- 野生動物との人との関係性
- 野生動物との距離感・考え方

動物の生態

- 生息状況(生息域、食性等)
- 動物の生態(種別、外観、行動)
- 現在の生息地での具体的な状況
- 野生動物と人との関係性

環境

- 生物多様性保全
- 気候変動対策
- 絶滅危惧種や人と動物とのあつれき

具体的な教育活動

常時開催のプログラム

座学プログラム

- 動物園の見どころ紹介
- 動物園の役割
- 飼育員のお仕事
- 動物園の獣医のお仕事
- ゾウから教わる森の大切さ
- ホッキョクグマはなぜ減っている？



園内ガイド

- 飼料庫ガイド
- ゾウ舎ツアー
- 動物病院ガイド

具体的な教育活動

常時開催のプログラム

飼育員・獣医師によるガイド

- 円山ZOOガイド
- 世界〇〇の日特別ガイド
(イベントを開催する場合もあり)
- 動物病院ガイド



ボランティアによるガイド

- サンデーガイド
- ツアーガイド
- 各種イベントの開催
(チリモン観察会、羊毛フェルト等)

具体的な教育活動

教育イベント

項目	内容
アースデイ in円山動物園	絵画コンクール及びブース出展により、来園者に環境問題を考え行動するきっかけを与える。
夏の特別企画展	環境共生担当課との共催。生物多様性の保全のための施策の一環として、毎年テーマを定めて開催
チリモン観察会	ちりめんじゃこの中から多様な生物を見つけ出すことで、生物多様性や環境保全を考えるきっかけを与えるイベント。
海鳥展	海鳥の一大繁殖地である天売島における、海鳥の生態等について展示。海鳥の希少性や保全の必要性を啓発。
大学、法人、その他 団体等との共催イ ベント	各団体からの呼びかけに応じ、当園の教育理念に合ったイベント等について、適宜共催等により実施。

気候変動教育に活用できる資源

次世代エネルギーパーク



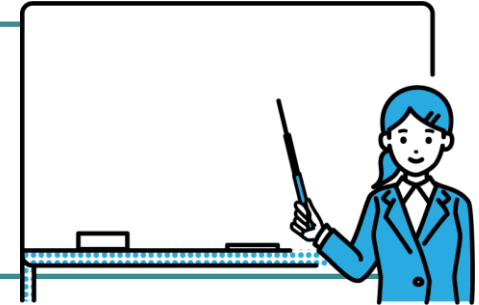
再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーに、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方に関する理解の増進を図る計画を、経済産業省資源エネルギー庁が認定するもの。

(2011年11月オープン、環境エネルギー課所管)

現状の課題

人材不足

- ・ 専門家不在



人手不足

- ・ 少ない職員で多忙な業務



予算不足

- ・ プログラム開発等の予算が不十分

